

《MIRAI. では、不定期にメンバーによる新聞を発行いたします》

## 主旨

皆さんこんにちは！

私のペンネームはコースケです。

私は、躁うつ病という障害を抱えており、MIRAI.で働いています。

今号のMIRAI.新聞では、そのMIRAI.における「テレワーク」に焦点を絞って述べていきますね。

## MIRAI.とは

生きづらさを抱えた人達を、働くことを通して、自分らしく生きることができるようにサポートする場所です。

## テレワークについて

MIRAI.では今年2020年の3月の下旬にテレワークが始まりました。

テレワークが始まってしばらくは、MIRAI.のオーナーの坂部まり子さんの年賀状や顧客の名簿をリスト化したりしていました。

この頃は、特に仕事はなかったものの、まり子さんが多少強引にでも仕事を作り出してくださっていた印象を受けました。

しかしその後、7月に入ってテレワークが軌道に乗ります。

そのとき、「ワードプレス」と「定期検修シート」という2つの大口で収入のいいテレワークの案件が入ってきて、MIRAI.のメンバーは、精力的にこれらの仕事に当たりました。

現在は、この2つとも仕事が止まり、私は以前やっていたリスト化の仕事をしたり、あるいはMIRAI.に通所したりしています。

## コースケにとってのテレワーク

私は、テレワークをするようになって良かったことが4点あります。

1つ目は、必ずしも運転をしなくてもよくなったことです。

前述の通り私は躁うつ病という障害を抱えており、今まで一睡もできない夜が何度もありました。

そんな日の翌日は、運転が危ないのですが、テレワークだったらそんなこと気にせず仕事ができます。

2つ目は、自分のペースで仕事ができることです。

私は躁うつ病を抱えているので、精神的にムラがあります。

また私はMIRAI.で仕事をすると、周りの空気を read した上で空気を作っていくようにするタチで、MIRAI.でだとしても作業が集中モードに入りにくいので、テレワークの方が仕事は進みます。

3つ目は、自分のスタイルで仕事を進められることです。

家でなら、ベッドに横になってスマホで仕事をしたり、好きな音楽をかけながら仕事ができます。

私は集中するときは凄く集中するけど、集中できないときは全然できないので、少しでも集中しやすいスタイルで仕事ができるテレワークには助かっています。

4つ目は、総括になりますが、自分らしく仕事ができるということです。

これからも、自分らしくテレワークを続けていきたいと思います。

ご精読ありがとうございました。